

# マザー・テレサを敬い、困っている人の立場で 長い間社会貢献活動を続ける — 渡辺ゆきこ(通称:ピアンカ)



「聖フランシスコ像」の前で



メーデーの参加ブースにて

- ・ 杉並区善福寺出身・桃井第四小学校・井草中学校卒業
- ・ 堀之内小学校元PTA会長・松ノ木中学校元PTA会長
- ・ 杉並消防団第二分団所属
- ・ 生活協同組合パルシステム・一般社団法人反貧困ネットワークなど複数の団体役員を歴任。

誰にでも幸せに生きる権利が！

私たちは  
渡辺ゆきこさんを  
応援しています！



杉並市街地での街宣



社民党党首 参議院議員 福島みずほ

## 学校給食の無償化と 食育をすすめる環境づくり

自治市民フォーラム2023

区内でも無償化を始める区が増えています。様々な事情で朝食を抜いて登校する児童・生徒もいるなかで学校給食の果たす役割も大きく、杉並区でも早期の無償化が必要です。

区立杉並第9小学校（給食モデル校：区直営）のコロナ禍以前の様子を元栄養士から聞きました。子どもたちが参加して、野菜むき体験、実際の食材に触れた学習、学校農園での共同作業や収穫物の調理、ランチルームを活用した食事など、笑顔と活気に満ち溢れた楽しい給食を提供していました。栄養士や調理員が積極的に子どもたちの中に入り有意義な食育指導が行われているのもわかりました。

この間の民間委託化により、杉並区の64小中学校のうち正規職員の調理はわずか8校に。30年間も正規職員の採用が行われていません。区はこれからも民間委託化をすすめる考えです。民間委託では食育指導は行なわれません。改めて、子どもたちへの食育をしっかりと行える正規職員の採用が課題です。

ほっとけないですね！

- ・ 学校給食の無償化と食育すすめる環境づくり
- ・ 児童館やゆうゆう館など居場所の拡充
- ・ 家賃助成や公営住宅の拡充で住まいの保障を
- ・ 孤立を防ぐには積極的に出向いて支える福祉行政へ
- ・ 都市計画道路や再開発は住民の声を生かして見直す
- ・ ストップ！気候危機、みどりと都市農業を守る
- ・ 原水禁運動発祥の地・杉並に「平和資料館」を
- ・ 多様性を認め合い、差別のない暮らしやすい街を
- ・ 安易な民間委託を見直し、公共サービスの再公営化を



弁護士 宇都宮健児

渡辺さんには、私が都知事選挙に初めて出た時からずっと応援していただきました。『希望のまち東京をつくる会』や『反貧困ネットワーク』の活動でも一緒に取り組んできました。コロナが始まってから増えた生活困窮する方への寄り添い活動も、一緒に取り組んできました。なによりも人権を大事にする渡辺ゆきこさんは、私が最も信頼できる仲間のひとりです。



映像作家 鎌仲ひとみ

私が議員になって欲しいのは地域の課題や問題をきちんととらえて、解決に向かって努力できる人。しがらみや利権など無縁な存在として、本当の意味で民主主義を実践できる人。弱い立場の人に寄り添える人。そう、そんな人が渡辺ゆきこさんです。杉並区民いいなあ～こんな素敵な人がいて！